

1 基本情報

施策名	2 - 2 みどりを育み活かすまちづくり				戦略名	みどり活用プロジェクト		
担当	主担当部	市民環境経済部	主担当課	環境課				
	部長名	岡田 光一	関係課	都市計画課	教育支援課	生涯学習課		

2 取組目標(Plan)

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ●豊かなみどりがある白井市の良質な環境を、市民とともに守り、育むことで、愛着と誇りを持てるまちづくりを進めます。 ●市民一人ひとりがみどりの環境の大切さを認識し、豊かなみどりを守り、次世代に残すための取組を展開します。 ●森や河川、田園など市街地の外側に広がるみどりと市街地内の緑地や樹木などのみどりがチェーンのようにつながり、みどりが持つ暮らしを豊かにする多様な可能性を活かします。
求める成果	市民にみどりを自ら守るという意識が醸成される。 ⇒豊かなみどりの環境を次世代につなげるまちになる。

3 令和3年(2021年)度取組状況(Do①)

取組1 白井の自然環境の豊かさを知り育むための環境学習の推進

取組方針	学校や市民団体などと連携し、みどりが形成されてきた歴史やその貴重さなどに関する学習機会を充実します。					
求める取組成果	環境保全に取り組む市民や市民団体が増え、行政との協働により、みどりの環境が保全される。					
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市民団体との協働による環境フォーラムや環境学習講座等を開催した。 ・各小中学校の教育計画に基づき、学習や体験等を取り入れた環境授業を実施した。 ・市民大学校等の講座において、環境に関するカリキュラムを実施した。 					
構成事業	事業名	評価	事業No	事業名	評価	
	1 環境学習推進事業	改善して継続				

取組2 市民によるみどりのネットワークづくりに対する支援

取組方針	市民団体が自ら、道路沿いなどの身近なみどりを育て、みどりのネットワークをつくる活動を進めます。					
求める取組成果	環境保全に取り組む市民や市民団体が増え、行政との協働により、みどりの環境が保全される。					
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の沿道に草花を植栽する団体に対し、草花の苗等の購入に要した経費の一部を補助した。(R3(2021)年度実績：49団体) ・補助金を交付した団体に、団体名を記載した専用のプレートを配布した。 ・市HPや広報による事業の周知をした。 ・白井環境フォーラムで団体の植えた草花等をパネル展示で紹介し、市民に本事業の取組を周知した。 					
構成事業	事業No	事業名	評価	事業No	事業名	評価
	2	沿道みどりの推進事業	改善して継続			

取組3 地域での環境保全や創出の取組としてのグラウンドワークの推進

取組方針	みどりの地域資源を守り、育む活動など、地域や市民団体などが連携した取組を進めます。					
求める取組成果	環境保全に取り組む市民や市民団体が増え、行政との協働により、みどりの環境が保全される。					
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市民団体との協働による神々廻市民の森の入り口付近での花壇づくりを継続して行った。 ・企業の協力でゴルフのロストボールを使用し、花壇内のなし坊を整備した。 ・千葉大学大学院生（園芸学研究科「環境健康プロジェクト演習」）の演習受講者と共催により、小学生を対象とした環境保全体験型イベントを開催した。 					
構成事業	事業No	事業名	評価	事業No	事業名	評価
	3	森のグラウンドワーク推進事業	改善して継続			

取組4 自然とのふれあいや癒しの場としての里山の保全と活用

取組方針	市民や市民団体などと協働し、（仮称）谷田・清戸市民の森など、里山を積極的に保全・活用します。					
求める取組成果	環境保全に取り組む市民や市民団体が増え、行政との協働により、みどりの環境が保全される。					
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・都市建設部局（都市計画課）と整備にあたっての課題の洗い出しを行った。 					
構成事業	事業No	事業名	評価	事業No	事業名	評価
	4	（仮称）谷田・清戸市民の森整備事業	改善して継続			

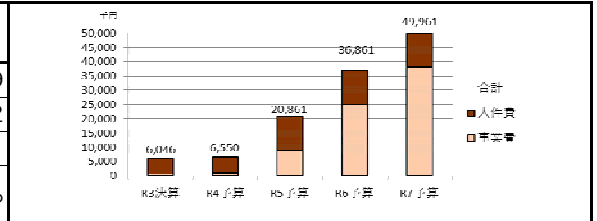
4 施策展開の状況(Do②)

改善した取組	沿道みどりの推進事業については、複数の団体が協働して植栽を行うことにより、みどりのネットワークをつくることを目指した。
他分野他施策との連携	環境学習推進事業において、教育委員会による市内小学校の児童の庁舎見学の際、環境課窓口において環境課の業務内容についての説明や水槽で展示している水生生物の生態と環境とのつながりを説明することで、児童の環境に対する意識の醸成に努めた。
市民等との情報共有、参加・協働	市民団体等と協働して環境保全活動の契機となるよう環境フォーラムや環境学習講座を開催して、市民の自然環境に対する興味・関心の向上を図った。

5 施策推進コスト(Do③)

(千円、%)

年度 項目	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
事業費	612	954	8,969	24,969	38,069
正職員人件費	5,434	5,596	11,892	11,892	11,892
合計	6,046	6,550	20,861	36,861	49,961
プロジェクト内割合	36.7%	65.8%	84.0%	90.5%	92.6%



6 1次評価(Check①&Action①)

(目標値設定の考え方は白井市第5次総合計画後期基本計画書の82頁を参照ください)

評価項目	指標名	単位	基準値/基準年度		実績値							
			R7 (2025)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)				
定量的評価	取組指標	市民団体との協働による環境保全活動数(累計)	回	-	-	30	24					
	取組指標	環境活動を行う団体数	団体	56	R1 (2019)	62	66					
	成果指標	自然保護活動に取り組む市民の割合	%	1.8	R1 (2019)	2.3	8.9					
		環境美化活動に取り組む市民の割合	%	7.0	R1 (2019)	8.0	18.5					
定性的評価	<p>環境学習事業や森のグラウンドワーク推進事業では、自然に触れ合う機会が少ない市民に対し、市民団体等と協働して環境保全活動を実施し、環境意識の醸成に寄与することができた。沿道みどりの推進事業では、市民団体が自ら緑化活動を行ったが、今後は、複数団体の協働によるみどりのネットワークづくりの拡大が考えられる。 (仮称)谷田・清戸市民の森整備事業については、整備にあたり自然環境を損なわないよう環境調査を行う必要があり、整備方針や区域の確定に難航している。</p>					<p>進捗状況</p> <input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> おおむね順調 <input checked="" type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 遅れている						
遅れている取組の原因	内部要因			外部要因								
	(仮称)谷田・清戸市民の森整備事業については、自然保護(人を入れない)区域と市民の森整備(人を入れる)区域が確定していない。			(仮称)谷田・清戸市民の森の整備については、土地所有者及び地元代表者の理解が必要であることから、丁寧な説明が必要である。								
施策を取り巻く環境の変化	<p>国・県の環境政策に係る動向を踏まえ、令和4年(2022年)3月に「白井市第3次環境基本計画」を策定し、環境の将来像である。「良好な環境を未来につなぐ持続可能なまち」の実現に向けて取り組んでいくことから、より一層市民団体などとの環境保全活動における連携・協働が求められる。</p>											
課題	喫緊の課題						中長期的な課題					
	市民がさらに自然環境の保全に意識し、興味・関心が持てるようPR方法やイベント内容を工夫する必要がある。						未就学児から高齢者までの幅広い世代が環境保全の意識を深め、自然環境を守り続ける必要がある。					
施策の方向性(改善策)	短期的な方向性						中長期的な方向性					
	市民団体などとの協働や各小中学校の教育計画に基づいた学習や体験などの環境学習や環境保全活動を支援し充実させる。						環境学習などを通じ、未就学児から高齢者までの幅広い世代が環境意識を持ち、環境保全活動を実践することで、未来の環境保全活動を担う人材の育成につながり、豊かなみどりの環境を次世代につなげるまちを形成する。					
進め方	<input type="checkbox"/> 行政の役割を拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現在の行政と市民の役割分担・協働を維持 <input type="checkbox"/> 市民の役割・協働を拡大											
	引き続き学校や市民団体などと連携・協働して環境保全活動を行うことにより、市民とともに豊かな自然環境を守り続けられるよう環境意識の醸成に努める。											

7 2次評価(Check②&Action②)**白井市行政評価委員会による評価**

- ・(仮称)谷田・清戸市民の森については、整備や自然保護のあり方について早期に方向性を決定し、資源を有効に活用できるように進める必要がある。
- ・すでに自然保護や環境保全に取り組んでいる団体等やその取組を積極的に市民に発信し、取組が広がるよう促す必要がある。
- ・市のみどりの豊かさを次世代につなげていくことを自分事として考え、積極的にかかわる市民を増やすためのさらなる取組を考えていく必要がある。
- ・成果指標について、R3(2021)年度の調査は基準年度(R1(2019)年度)における調査よりも母数の少ないデータではあるが、自然保護や環境美化に取り組む市民の割合が目標値を上回っており、今後もさらに高められるよう、推移に留意して取組を進める必要がある。

8 3次評価(Check③&Action③)**総合計画審議会による評価**

令和4年(2022年)度対象外

9 3次評価の改善意見等への対応

令和4年(2022年)度対象外